

## 議会報告

# さとう一郎



- ◎建設産経常任委員会委員長
- ◎議会運営委員会委員
- ◎議会報編集特別委員会委員
- ◎巨理名取共立衛生処理組合議会議長

## ◎地方創生の取り組み

### 一郎の質問

施政方針で「まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、今後5カ年の政策目標等を定め、暮らしやすい生活環境を整え、人口の維持と活力あるまちづくりに取り組む」としているが、具体的なまちづくりの見解を伺う。

### 回答 市長

基本的には、「地方に仕事をつくり安心して働ける」「東京一極集中を是正し、地方へ新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」「安心な暮らしを守る地域づくり」の4点をパッケージ化した政策を提案したいと考えます。

## ◎子ども・子育て支援制度

### 一郎の質問

27年4月から待機児童ゼロを目指し、幼稚園での保育、小規模保育の緩和などの新しい運用となる子ども・子育て支援新制度が始まるが、待機児童解消に向けて、どのように取り組むのか伺う。

### 回答 市長

子ども・子育て支援新制度を最大限に活用し、市が認可する小規模保育事業所や事業所内に保育所を開設する事業者への支援及び認定こども園の普及を進めています。新制度の適用外となる認可外

平成27年3月

# NO. 41号

発行責任者

岩沼市議會議員

佐藤一郎

岩沼市下野郷字館外251

TEL 0223-24-0931

E-mail s-itirou@mwb.biglobe.ne.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~ichirou/

- ・2月定例会は、2月17日から3月6日まで開かれました。
- ・27年度の一般会計予算は、324億円と補正予算矢野目、二野倉排水路、排水機場整備事業109億円、総額433億円となりました。
- ・一般質問は、岩沼政策フォーラム代表とし市全般について、11項目を行いましたのでご報告します。
- ・27年度も皆様の声を拝聴しながら、福祉向上と若者が集うまちづくりのために進めてまいりますので、「一郎」に、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

保育施設や保育ママの会などにも引き続き支援を行い待機児童の解消に努めていきます。

### 一郎の質問

市政方針で「小規模保育2件の認可に向けて協議を進めています」とあるが2カ所合わせて何名を予定しているのか。

### 回答 健康福祉部長

2カ所で34名を見込んでいます。



小規模保育の様子

### 一郎の質問

若者が集まり、子育てしやすいという岩沼のイメージをつくってほしいと思う。結婚したばかりの人や妊娠中の人にも調査する必要があると思うがどうか。

### 回答 健康福祉部長

新生児から漏れなく訪問をして状況を把握し、保育所等の情報をつなぎ、関係課間で連携をとっています。切れ目のない支援をする窓口をあらためて設けることを新年度で考えています。

## ◎仙台空港民営化

### 一郎の質問

仙台空港民営化は、今年8月に1グループを選ぶ見通しと報道されている。県は、空港民営化により空港周辺地域への産業集積を想定し、適地を探す土地利用調査費の計上などを行い、空港民営化に関する見解を伺う。

県の仙台空港臨空都市整備基本計画では、産業集積を岩沼市域へとあったが、どうなるのか。

### 回答 市長

27年度を目標年次とした計画で、東日本大震災の影響等もあり十分な成果が得られていません。県南サミットなどの機会を捉え、空港周辺の現状や市の各種計画、地域の要望等空港民営化後を見据え、直接知事に対して基本計画の見直しを要望しています。



仙台空港民営化により産業集積を

### 一郎の質問

運営企業は運用時間延長を望むと考えられるが、その場合の対策はどうか。

### 回答 市長

仙台空港の運用時間は、空港の国際化や滑走路延長などの際に、国・県・市・地域が一体となって検討し現在の時間となった経緯があり、市としては、空港と地域がともに発展することができよう、地域の方々の意見等も踏まえ検討していく必要があると認識しています。

### 一郎の質問

周辺地域には、住宅、工業団地などがあるが、周辺環境対策はどのようになるのか。

### 回答 市長

国が航空機騒音障害防止法に基づいて、国の募集要項において運営権者が引き続き行うこととしております。また、一般財団法人空港環境整備協会が行ってきた周辺環境対策が講じられるよう、県を通して国に要望していきたいと考えています。

## ◎火葬場建設について

### 一郎の質問

施政方針で「新たな建設候補地の選定を早急に進める」とあるが、どのように選定していくのか。

### 回答 市長

震災からの復興も進み、状況も大きく変わってきており、今後の進め方につきましても改めて検討していきます。

## ◎高齢者社会の取り組み

### 一郎の質問

超高齢化時代を迎え、市民の健康寿命を延ばす対策が重要となるが、見解を伺う。

### 回答 市長

高齢者福祉計画、介護保険事業計画で基本目標の一番目に、元気な高齢者が集い触れ合うまちづくりを掲げています。若いころからの健康づくり、高齢期の介護予防などに市民の皆さまと積極的に取り組んでいきます。

### 1) 健康寿命を延ばそう

### 2) 生活習慣病の予防

### 3) 健康を支える地域社会

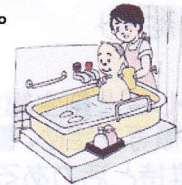


### 一郎の質問

要介護施設の待機者の増加に対応するために施設の増設が必要と考えるが、見解を伺う。

### 回答 市長

第6期高齢者福祉計画や介護保険事業計画において、認知症高齢者グループホーム18床の新規整備及び介護老人保健施設40床の増設を計画しています。



・認知症高齢者18床増設

・介護老人保健施設40床増設

### ◎その他の一般質問について

- ・健康医療産業集積
- ・岩沼インターチェンジ周辺開発
- ・ふるさと納税
- ・市民活動支援制度
- ・中学校部活動対応
- ・小・中一貫校教育の以上11項目の質問を会派代表として行いました。

岩沼政策フォーラム会派議員  
国井宗和、森 繁男、沼田健一  
佐藤一郎、櫻井 隆、佐藤淳一

### ◎2月定例会主な事項

- 医療費助成制度通院助成を小学3年までを10月より中学3年まで実施。
- 地域活性化のため個人住宅リフォーム助成10万円限度にリフォーム助成
- 雨水対策として、節水と啓蒙活動に1000以上のタンクに雨水貯留タンク2万5千円限度助成
- 放課後児童クラブ利用者増加のため岩沼小学校内に分室増設